



## 境界線 2

施設長 松島栄一

2011年を振り返って、いろんな出来事がありましたが、今年はなんといっても東日本大震災とその際に起きた福島原発事故が大きな出来事だと思います。前号でもふれたように、この震災と事故は、被災地とそうでない地域、避難区域とそうでない区域、放射能の汚染地域とそうでない地域、被災者とそうでない人といったようにさまざまな境界線を発生させました。風評といった根拠のない境界線によって苦しめられた人々もいました。

また、先日も海の上での領有をめぐる死者まで出てしまいました。国境線をめぐって死者が出るのは今に始まったことではありません。このように一つの境界線が引かれてしまうことで大きな影響を及ぼすということを改めて実感した年でもありました。

考えてみれば、このこと、つまり線を引くということは、私たちが生業としている障害者福祉に、最も大きな影響与えているのが事実で、障害者といわれる人と健常者という人はどこで線が引かれるのか。支援者と支援を受けるひとは？その他、障害の有無、程度等々さまざまな線を意識しなければなりません。

先日、短大に通っている息子(ダウン症)の授業につきあったのですが、お互いに名前呼び合い、からかったりからかわれたり、そこには境界線みたいなものはあまり感じられませんでした。線を引くことが悪いとも思いませんし、必要なこともあるとも思いますが、改めて線を引くことの重みを感じなくてはと思う年だったかと思います。

### 12月・1月の予定

12月19日(月) ~健康チェック週間

12月28日(水) 年内活動最終日

12月29日(木) ~冬季休業期間~

1月4日(水) 新年活動初日

1月16日(月) ~健康チェック週間

**ご報告** けやきでは、「けやき祭」「九十九祭」の収益の一部や、当日集まった募金を、きょうされんの「きょうされん自然災害支援基金」に入金させていただいたことは、前号に掲載したとおりです。今回、きょうされんから、その受け取り確認のハガキが届きましたのでここに掲載いたします。

**東日本大震災支援金ご協力のお礼**

この度は東日本大震災支援金にご協力を賜り、ありがとうございます。

当会は日本障害フォーラムに所属する一員として被災地に支援員を派遣し、避難所や在宅を訪問しての安否確認やニーズの把握、物資の配送、行政への申し入れ等の支援活動に取り組んでまいりました。震災から9カ月が経ちますが、福島第一原発事故の収束や放射能汚染の課題をはじめ、安心した生活環境にはまだ時間がかかります。なお、宮城県につきましてはJDFみやぎ支援センターにおける、人的支援は11月末をもって終えることとなり、今後は新たな形で支援活動を展開していく予定です。なお岩手県・福島県につきましては継続した支援活動を引続き行ってまいります。

中長期に及ぶ被災した障害のある人への支援につきまして、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い致します。

お礼が遅くなりましたことをお詫び申し上げますとともに、書中をもってお礼申し上げます。

なお、今後の活動経過や基金の用途などは、機関紙「月刊きょうされん TOMO」やホームページ等を通じてご報告をしていく予定です。

きょうされん 〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18-5F  
TEL 03(5385)2223 FAX 03(5385)2299  
HP <http://www.kyosansu.or.jp>  
e-mail zenkoku@kyosansu.or.jp

郵便振替 00100-7-80225 きょうされん自然災害支援基金  
ゆうちょ銀行 〇一丸店(ゼロイチキューブ店) 西店 0086225  
キョウサレンシゼンサイガイシエンキキングナ

## ～12月「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<つい最近の「けやき・光」のお昼ご飯の様子です！>



## ～「障害福祉についての新たな法制に関する請願書」署名の御紹介～

今年行われた「障害者基本法」の改正が、障害を持つ人の選択の自由について「可能な限り」という条件付の文言になったものに留まってしまったことは木洩れ日 53 号でお伝えしましたが、いよいよ「障害者自立支援法の廃止」「障害者総合福祉法」の制定が近づいてきています。これは「障害者自立支援法違憲訴訟の和解合意」で政府与党と交わされたことに基づいています。

その後、国内では、これまでも議論されてきた国家財政の建て直しが、東日本大震災、福島第一原発事故や年金や医療など社会保障費問題を筆頭に議論されています。国外でも EU 諸国の財政難で世界経済の先行きが不透明です。国内外の不安感の中、様々な分野で「財源がない以上、仕方がない」「財政再建は痛みが伴う」という声が強まっています。その陰で、実際には、その「仕方がない」「痛みが伴う」と言われる具体的な策は、「出来る人が出来る限りの負担をする」以上に、社会的に弱い立場にある、政治力や経済力がない人たちに対して、これまで以上に強いていくことが強く懸念されます。

すでに、「新法制定せずとも、先に行われた障害者自立支援法改正（※定率負担を残したままの改正）でことは足りているのではないか？」という論調も厚生労働省や政府与党からも一部出ているようです。

しかし、違憲訴訟の大事なポイントの1つとして、財源問題や負担の問題ではなく、「障害をもつことでのハンディキャップを、障害をもつ人の責任ではなく、社会（国家）の責任と認識するか、しないか」ということがあるのです。「お金がないからそのためのサービスが出来ない」と言う話とは、また別の話です。世間に流されている空気にごまかされて「仕方がないかも…」とうっかり流されてはなりません。あの「違憲訴訟」の原告団の覚悟、その覚悟の末に多くの人々の力で創ることのできた「和解合意」を守る、守らせる正念場に來ました。

今一度、「障害を持っていることは、その人の責任ではない」「社会で支えあうもの」というポイントをしっかりと整理して今まで以上に小さな力を重ねていく時期に來ています。

その方法のひとつとして、今回、「障害福祉についての新たな法制に関する請願書」署名を御紹介いたしました。もし、ご協力いただければ幸いです。

ご協力いただいた場合、その署名用紙は、「けやき」にお届け下されば、喜んでとりまとめの上で本部に送りますが、個々で直接本部に送っていただいても結構です。

(西)

※なお、署名用紙は「きょうされん」ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.kyousaren.or.jp/35petition/index.htm>

「けやき」での署名の取りまとめ 締め切り 1月10日(月)

## お知らせとご協力をお願い

### けやきのホームページ作成中!!

九十九会ホームページを作成中です！もちろん「けやき」のページもあります。けやきのページには、この「木洩れ日」も、比較的最近のものは読むことができるようになっています。皆さんから何度も寄せられている「木洩れ日」上の写真を「白黒ではなくカラーに！」というニーズも、ホームページ上では実現しています。

現在、まだ試行段階のため、インターネット上で「九十九会」と検索しても「すぐには見当たらない状態」になっています。今後、検索ですぐに探せるような状況にする予定ですが、そうなる前に必要があれば修正をして整えていきたいと思っております。

そこで、可能な方は、是非、下記のホームページアドレスから入っていただき、「けやき」をクリックしてご覧下さい。そして、御意見、御感想をお聞かせいただければ幸いです。

ホームページアドレスは <http://tsukumokai.org/> です。

## ～12月「けやき」ミニ・ギャラリー②～

### <つい最近の「けやき・風」の大掃除風景>



窓拭きやっています！



中からみると…♪



外から見ると…♡

**お願い** 「けやき」の活動の様子画像を今年度も「木洩れ日」や「生き生き展用のポスター」などに掲載したいと思います。掲載を希望しない利用者・保護者の方は、お手数ですが「けやき」(担当；西)までご連絡下さい。

**編集後記** ▼強い風のなか、「けやき」の仲間と歩いていたらススキの種がたくさん飛んでいきました。それが不思議なことに強い風のなかでしたが「ピューツ」と飛んでいったわけじゃなく、「ふんわり」と飛んでいったのでした。確かに強い風に飛ばされているのだけれど、でも「ふんわり」。▼そういえばタンポポの綿毛を息で飛ばそうとするときもそうです。私が強く一息で吹くと慌てたように綿毛が飛ぶ。でも、ほどなく綿毛はその急な勢いから「ふんわり」へ。▼そして残った綿毛を飛ばすためにもう一息吹きかけようとした瞬間、不意に風が吹いて、残った綿毛が最初から「ふんわり」と飛んでいく。そんな時、その「ふんわり」とした飛び立ち方に、思わず見とれてしまいます。強く吹きかけようとしていた息を吸い込んだまま。▼そして今度は、そーっと息を吹きかけてみるのだけれど、なかなか上手く綿毛が飛び立ってくれません。せっかちな私は、またも強く息を吹きかけ、綿毛が慌てて飛んでいく(苦笑)。でも、慌てて飛んでいく綿毛の様子を見て、今度は、何故だか急に綿毛を飛ばすことがつまらなく感じてくる。そう、きっと「ふんわり」が楽しい。▼今年も一年本当にお世話になりました。皆様、良いお年をお迎え下さい。(タンポポの種のように細身な西)